



国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ



クラブ会報 なんと

NO. 2615

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ☎0763-53-1333 FAX 53-1334

写真撮影 写真同好会 山田 孝六員



「金沢県と新川県の境界」砺波総合病院付近

第2676回例会 令和5年10月17日(火) 晴 24℃

- ◆点 鐘 12:30 木村伊徳会長
- ◆司 会 野村 守SAA
- ◆ソング「奉仕の理想」
- ◆ゲスト 日本石仏協会理事 尾田武雄様
- ◆会長の時間 木村伊徳会長



地区大会記念講演 吉岡秀人氏
特定非営利活動法人「ジャパンハート」創設者

「いろいろな支払方法」

皆さんは買い物時の支払いはどうしてますか？

私は通常は今でも現金支払いが多いです、ゴルフ場とか纏まった金額も含めて割とカード支払いが多くなって来ていますし、遠くへ行った時の支払いは殆どカード決済をしています。カード支払いは記録が残るので助かるのは事実ですね。

ところで、最近はQRコード決済があり、スマホ一つを持っていれば全て支払いができることになってきました。

皆さんも俗にいうペイペイを使っておられるでしょうね。決済は『ペイペイ』とスマホが云えばオーケー！楽ですね。これからもこの支払いが増えるでしょう。実は私の農園きむらもペイペイ支払いを昨年より受けており、お客様も年配の方でもペイペイ払いが多いのには正直ビックリしています。時代だなあと実感しています。

今年の梨の販売は終わりましたが、皆さん、来年はペイペイでの支払いで梨を買って下さい。

◆幹事報告 森 悦夫副幹事

①10/22(日)地区大会バス時間案内。

◎福野市民センター11:10→福光駅(東口)11:20→城端駅11:30発

〇12:45～本会議Ⅰ、記念講演、本会議Ⅱ 場所移動 (野々市文化会館フォルテ⇒野々市小学校)

大会プログラム

1日目	10月21日(土)
12:00	受付開始 地区大会4委員会 登録受付開始
13:00	開会点鐘 指導者育成セミナー
17:20	移動
18:30	RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
2日目	10月22日(日)
12:00	登録受付開始
12:45	開会点鐘 オープニングアトラクション 本会議Ⅰ 記念講演
	休憩
	本会議Ⅱ
	移動
18:30	大懇親会

・参加者：荒井、石崎和三、岩木、岡部、尾山、片山浩一、木村、久恵、谷口、谷村賢治、船藤、古瀬、森悦夫、山田孝、吉田美花の皆さん。

※前日は岡部、木村、尾山、久恵、古軸、森悦夫の各君参加。

♥ココロボックス 10/17 安居利浩委員長

木村君 先日の白川どぶろく、参加人数は少なかったですが楽しかったです。今日は尾田先生の卓話が楽しみです。

岡部君 結婚祝いありがとうございました。例会には、本当に久しぶりに参加できました。これから体調の許す限り出席させていただきますので宜しくお願い致します。

古瀬君 誕生日祝いありがとうございます。

榎君 先般より、母の通夜、葬儀に参列、お心遣いいただきありがとうございますでした。

野村君 先週、長門にある安倍晋三さんのお墓参りに行って来ました。約820歩、片道10時間かかりましたが、念願果たせて良かったです。

澤田君 10月は木材利用促進月間です。木材に少しでも親しんで戴ければ幸いです。10/15(日)庄川の学習センターで、砺波地区宝生会の発表会が開催され、福光代表として、演目「玉カヅラ」のシテを演じました。風邪気味でしたが、何とかやりきることが出来ました。朝晩、日中と寒暖の差が大きく、皆さん、体調管理には十分留意しましょう。

石崎和君 昨日はたのしい時間、ありがとうございました。卓話楽しみです。

高野君 尾田武雄様の卓話、楽しみです。

川合君 尾田武雄さん、ようこそ。卓話よろしく願います。

吉田美君 尾田様ようこそ。石仏のお話し楽しみです。

山田清君 先日の白川どぶろく祭、参加できず、残念でしたので、明日、宿泊でたっぷり飲んできます。

久恵君 白川どぶろく祭り、大賑わいでした。一つのイベントとして確立していました。大勢の観光客が訪れて、楽しんでいました。ドブろくをたくさんいただきました。

岩木さん、ハンドルキーパーご苦労様でした。

高瀬君 10月14日白川どぶろく祭りに参加させていただきました。貴重な経験でした。参加人数は少なめでした。

船藤君 どぶろく祭り楽しかったです。岩木さん、木村さんにはお世話になりありがとうございます。早退します。

谷村修君 半月程おくれで、キンモクセイが咲き、秋らしくなりました。季節感を大事にする男谷村修基。

石崎雄君 昨日某コンベで、初めて安居君とラウンドしました。今年から熱を入れてゴルフをやるようになったそうです。元バスケット選手の長身を生かして近い将来飛ばし屋になってほしいです。

安居君 昨日、とあるコンベの表彰式で、久恵龍三さんの司会でゲバから発表されました。いつもの定位置くらいだと思っていましたが、なかなか名前を呼ばれず、とうとう一位までできました。まさか優勝？とおもっていたら、優勝は定位置の尾山さんでした。私は忘れられていましたBB賞の定位置の安居です。

吉田美君 本日欠席してすみません。今日安居さんがBB賞、私もゴールドウィンアクティブカップでBB賞を頂きました。前半50ロンドウインを打ち、ショックでしたが後半41でした。ゴルフは18ホールラウンドだということをかみしめました。

谷村賢君 早退します。

牧君 夜、会報の編集していたら、突然パソコンの画面が変わり、乗取られました。画面にはここへ連絡せよと字幕が出て、連絡すると外国人が写真送ってきて、これから直すから1年補償で5万円10年補償で6万円と言ってきました。こちらはもう歳だから1年で2千と粘ると電話は不通になり、暫くアダルトなどの画面でしたが、シャットダウンしたら元通りになりました。



送られてきた写真

本日のプログラム 10月24日(火) 第2677回例会
卓話 担当 上坂英伸会員

◆出席報告 吉田 実委員長

会員数	10月17日出席率	9月26日(修正)
44 (免除1)	65.12% (出28)	76.74% (出33 内メーク7)

メークアップ：尾山裕和君、片山浩一君、木勢博文君、澤田喜朗君、野村守君、船藤幸生君、宮川功君。

次回の予定 11月7日(火) 第2678回例会
R財団セミナー 担当 中田裕二委員長

※10/31(火)は休会です。

松本会員卓話者紹介 一前略一 秋になり、お地蔵さんの上に赤とんぼが止まっているような、和やかな季節になりました。その石仏たちが作られた過去には様々な理由があったのだと思われます。事故があった所なのかも知れないし、道標として作られたのかもしれない。聖徳太子像や不動明王さんもそうかもしれません。そういった事にまつわるお話を本日は聞けるのだと思います。それでは尾田さん、よろしくお願いします。



尾田武雄さん卓話 「となみ野の石仏…砺波地方の庶民信仰」

まず、石仏とは何かということでお話したいと思います。石仏と言えば字の如く石の仏様であるので、石に彫られた仏様が石仏ということになります。ところが石仏や不動様、太子様、色々あるのですがそれら全部ひっくるめてお地蔵さんと呼ばれています。これは砺波だけかと思いましたが全国的にも石仏そのものはお地蔵さんと呼ばれています。それほどお地蔵さんという存在は親しみがあつてたくさん世の中にあるのかなと思います。事実、砺波には沢山の石仏がありますがそのうちの70%はお地蔵さんです。石に彫られた仏様が石仏です。そして、石というのは非常に神聖な物だということで人間は昔から石に対して深い信仰心を持っています。例えば古い縄文時代、もっと前の石器時代に人が亡くなったら死者の腹の上に石を乗せ、花を手向けたということで、古い時代から石が神聖なものとしており、神聖な石に仏様を掘ったのが石仏ということでもあります。石仏には神様が彫られた物もありその場合は石神と言うんですけど、神様も彫ってあつても石仏と呼ばれる、なぜかと言うと江戸時代は神も仏も同じだったんです。石に掘ったのが全部石仏やお地蔵さんやという認識があつたので私達も神様が彫られていても石仏と言います。



砺波市の徳方に五社神社があります。ご神体を岩神と言いまして岩が神様なんですね。江戸時代の本に20年も経ったらその石がだんだん大きくなるといういわれがあり、20年経ったらお社を交換しなくては行けない、石が成長するという不思議な話があります。石というのは変わらないものだけど岩神という神様として大事にされています。

石仏にはどんなものがあるのかというと、道端にはお地蔵さんが非常に多いですね。道の境目におられることが多いです。四つ角とか五つ角、また砺波の散居村の中では川と道が交差するところ、そんなところにお地蔵さんが置かれています。そういった道の境目に日本人はいろんなものを感じたのかなと思います。

神聖なところと俗な世界の境目として真言宗のお寺さんの前にも大抵お地蔵さんがおられます。また砺波の千光寺、安居の安居寺、城端の城国寺とか、その前にも境目として大抵お地蔵さんがおられます。お墓の前にも大抵お地蔵さんがおられます。特に多いのは六地蔵さんで、六道輪廻の世界に地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上と六つの世界の境目にお地蔵さんがおられるということです。道端に馬頭観音がおられます。頭の上に馬の絵が描かれており、手が六本というお姿です。昔は馬や牛など大事にしてきた動物が亡くなると馬頭観音を建てる、ということで道端にあります。

川や水辺には弁財天という水の仏様、水天というのがあり、福光の田中にあります。これは刀利ダムの方にあつた神様を移したということです。それから山の方には磨崖仏があります。有名なのは上市の日石寺にある不動明王です。石仏には2通りありまして道端の動かすことができる石仏と、岩に彫られた動かせない磨崖仏に分けられます。砺波地方では磨崖仏は利賀村にあり、庄川町から利賀村に行くところの栗当という所です。旧道沿いですが雪崩で道がなくなってしまいそこまで行くのは大変です。

石仏はお寺には阿弥陀様とか大日如来がありますね。お墓には六地蔵、神社に行ったら狛犬があり、狛犬にもいろんな珍しいものがあります。お釈迦様や釈迦如来などいろんな種類があるんですね。小矢部の寝釈迦は、涅槃仏ともいいますがお釈迦様が亡くなる時の姿です。自宅(太田)近くにある阿弥陀さんは周りに道標が刻まれています。(東 ふなば) (西 でまち) (上 井波) (下 高岡) ふなばというのは現在の太田橋のあたりに船場があつたんです。

砺波市中野の立山酒造前に薬師如来があります。病気を治す仏様で薬壺を持っておられます。頭髪は阿弥陀如来とか釈迦如来と同じような螺髪と肉髻で螺髪というのはパンチパーマで肉髻というのはコブですね。横に明治20年6月南部元次 総連中と刻まれています。砺波では幕末と明治12年、18年にコレラが大流行しました。この中野在所だけでも20人を超える方が亡くなっています。コレラは2年程で収まり、良かったということで薬師如来を立てて感謝をされたということです。南部元次さんというはお医者さんでこの総連中というのはみんなということです。薬師如来は大きく2mほどあります。きつと福光の方でもコロナが大流行したと思います。3回の大流行で砺波平野はことごとく大変な状況にあつたんです。

砺波市太田にある千手観音です。これが作られた江戸時代末、もう150年も160年も前ですけど、顔つきが可愛く現代的です。また、十一面観音は明治18年3月に作製と書いてあります。願主 当所若連中(青年団)、下の方には石工 森川英次郎と書いてあります。庄川町の金谷の石工で明治36年に亡くなつたんですけども一生の間千体の石仏を作つたと言われる名工なんです。



三十三ヶ所観音 南砺市城端城国寺

庄川町金谷の十一面観音様、これも森川英次郎さんの作です。綺麗ですね。三十三箇所観音、西国三十三箇所の霊場の本尊を一体ずつ彫つたもので33体あります。これは城端町の城国寺というお寺さんの前にあります。西国三十三箇所を回るのは大変なことで、当時は何年かかけて歩いて回っておられるのですが、江戸時代末から明治期にかけて一つのブームが起きました。恐らくこの住職さん又はお寺さんの関係者が回つたと思うんですね。そして三十三箇所のお寺の土を持ってきてここに埋めてあるんです。それで一体一体お参りすると三十三箇所全部回つたことと同じご利益があるとされています。ご利益は2つあり、今迄悪いことをしてきたのが帳消しになる、もう一つは死んだら極楽に行けるそうです。西国三十三箇所全部回るのは大変なので城国寺で丁寧に心を込めてお参りするとこの二つが叶うそうです。

井波の創遊館の近くにある石仏で、怖い顔で刀と法輪を持って、頭髪はパーッと立つたお姿の無量力吼菩薩という仏様なんですけど全国でもすくない仏様です。明治18年か19年に建てられ、コレラがここまで入るな、井波の中にあるコレラ出てけ、という願いを込めて建てられたと思います。昔井波には山伏が大勢いました。江戸時代の調査によると16カ寺の山伏のお寺がありました。山伏というのは真言宗で、そういう坊さんか修験者がこういった珍しい石仏を立てさせたのかなと思います。

願掛け石というのは、お堂に穴の開いた石が吊つてあります。これは庄川町青島とか中野とか太田その周辺に多いのですが、穴の開いた石を庄川で探して来て願を懸けるのです。江戸時代はお医者さんが少なく、子供の目の病気、歯が痛い、耳だれがするなど子供の病気を治そうと母親が、穴の開いた石を夜こっそりと探してお願いすると願いが叶うという風習がありました。

不動明王で梅檀山の方にあります。大岩日石寺の模刻と言われています。大岩の不動明王の横に脇侍といいますが阿弥陀様、行基菩薩、制多迦(せいたか)童子、矜羯羅(こんがら)童子があります。今度行かれたら阿弥陀様、行基菩薩、制多迦・矜羯羅童子もお参りの特見てください。案外砺波平野には不動明王が多く、不動様といえば片方の目が上見てもう片方の目は下を見えています。牙も上と下を向いて並んでいます。こういうお姿でおられるんです。

蛇喰の方にある水天という仏様です。これは蛇と言うか龍が彫られています。龍とか蛇は水と非常に係りがあると思われます。これも明治の初期ですね。また、弁財天で福光の田中と田中北の交差点の真ん中辺りを東に行った田圃の中にあります。

福野の広安のお宮さんには逆立ちした狛犬があります。こういった逆立ちした狛犬は金沢に多いんです。逆立ち型狛犬、金沢型狛犬、アクロバット型狛犬とも言われています。明治の中頃にバツと流行つた物です。

南砺地方の石仏の特徴はお地蔵さんが多い、幕末から明治期にたくさん作られた、青年達(若連中)が中心となって建てた、庄川から産出された金谷石でできたものが多い、という特徴があります。それと路防の石仏ですけどお堂の中に入っているというのが全国的に珍しいです。それと管理者が大体分かっていて、地蔵さんの祭りが各地域に多く残っていてこれも全国的に珍しいです。

砺波地方には大体5000体の石仏さんがいるのですが95%ぐらいは幕末から明治時代に作られたものです。幕末から明治時期というのは非常に若者が活発だったんです。相撲が非常に盛んで、砺波地内に南無阿弥陀と書いてある草相撲の相撲取りの石碑があります。また盤持ちが盛んだった。福光のちよんがれも盛んだった。若者が非常に元気な時期だったんです。それと大事な、ほんこさま、今は年寄りやっておりますけど昔は若い人が中心でやつてたんです。それから獅子舞も大抵明治から盛り上がるんです。石仏を勉強しましてやっぱり町の活性化というのは明治のように若い人が頑張らんのかな、という思いです。

今日はどうもありがとうございました

(今回の会報担当: 谷村修基)